

表紙の写真にある道休禪門（行き倒れ地蔵）は、熊野古道中辺路ルートの水呑王子から伏拝王子の間にあります。道半ばで倒れて、熊野本宮大社まで行き着くことなしに行き倒れた方々を土地の人が哀れみ、供養しているのがこのお地蔵様です。古道の難所には、そのような延命地蔵や無縁仏が多く残っています。

今も、冬の古道沿いのお地蔵さんには寒くないようにと、地元の人たちがこうやってわらぼうしをかぶせてくれています。今も昔も、人々の優しさが偲ばれます。

（撮影者：山下義朗 田辺市本宮町在住）